

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年 1 月 20 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3495000022		
法人名	社会福祉法人 誠心福祉会		
事業所名	誠心園グループホーム		
所在地	広島県江田島市江田島町宮ノ原三丁目18番66号 (電話) 0823-42-6177		
自己評価作成日	令和2年12月20日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3495000022-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年1月15日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

木の香りのする温かさやなつかしさを感じさせる家をコンセプトに自然のエネルギーを利用するジオパワーシステムを導入したエコ住宅を作りました。各居室にはエアコンが設置されていますがそれ以外に風が利用者様に直接当たらないよう、特殊なヒーターも設置してあります。周りの庭には栗の木、サクランボ、柚子、柿の木があり利用者様と収穫をし、栗ご飯、干柿、柚子湯にし季節を体感して頂いています。自宅で行っていた調理、洗濯、掃除を一緒に行い普通の生活に少しでも近づいて頂けるよう努めています。コーヒータイム、昼食時間を一緒に過ごすことでゆったりした空間作りに努め、ここでの生活が「我が家のように」の理念に基づいたグループホーム作りに繋げ職員一同グループホームと共に成長していきたいと思う毎日です。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

自然からの恵みを活かし、事業所理念「我が家のような普通で、あたり前の生活を私たちが心をこめて支えます」を職員全員が毎日のケア目標に掲げ、支援に尽力している。利用者と共に過ごす中で、四季を感じて頂けるように、建物の周辺に花や樹木が植えられ、実った果樹を収穫から食すまで、個々の体力に応じて出来る事を重視し、楽しみが喜びに変わるよう支援に力を入れている。今後は独自の厨房での食事作りに取り組めるよう課題にあげている。家族との交流が困難な中で、生活状況報告、グループホーム便りのみならず、電話やオンラインを通じての発信を実践している。職員の意見や提案を聞く機会を設けるなど、職員間で協力し合い、働きやすい職場で日々の介護支援に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目(西)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	普通で当たり前の生活ができるよう、個別に会話支援を行い、情報共有をし、家族の立場で考え話し合い、理念に基づいて生活を行って頂けるよう申し送り時話し合い少しでも近づけるよう努めている。	法人理念を基に、家庭的で温もりのある毎日を過ごして頂けるよう職員間で話し合い、介護ケアする中から、年度目標を掲げて、申し送り時などで周知し日々実践に繋げ、達成に向けて尽力している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の方々とは、運営推進会議への参加・災害時の協力体制がとれるようになっている。	地域行事（とんど祭りや秋祭りなど）催し物や特別養護老人ホームで開催されるイベントなど参加交流をしていたが、コロナ禍で困難になり、ビデオを使つての百歳体操、ホームパーティー、ケーキパーティーなど季節の変化を感じて頂けるように、グループホーム内で出来る事を行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	推進会議のときに近所の方の認知症の相談を受けたり、事例をあげて支援の取り組みについて説明していたが今年度は新型コロナウイルス感染予防の為できていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	新型コロナウイルス感染予防の為できていない。	2ヶ月に1回、家族・自治会・民生委員・地域包括支援センター職員等参加者による活動報告や意見・情報交換が出来ていた。会議の代わりに、家族に3か月に1回生活状況報告、グループホーム便りを送付し、活動報告、オンライン面会や電話での近況報告など行い、家族との連携も図られている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	事業運営をする上で判断に困ったことや疑問点があった時など市の担当者に連絡を取り、必要に応じて指導をしていただいている。	市の担当課との協力関係が築けるよう、書類の提出や相談事、タブレットを使用しての研修参加など関係性が継続出来るよう取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目(西)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人全体で身体拘束廃止委員会を設置し、年2回パソコンで研修を行っている。事業所内にて身体拘束をしないケアの理解を深め、職員間で共有して取り組んでいる。グループホームは一つの家として考え利用者様は家に帰ったらカギをかける習慣がある為施錠をしていないと不安になり気にされるため施錠して安心して頂いている。	身体拘束廃止委員会や研修を通じて、職員間で話し合い、身体拘束をしないケアの重要性や理解度を深める為の指導を行っている。個別に車いすから椅子への移乗を「座り替えチェック表」で確認し、寛いた雰囲気でも落ち着いた雰囲気でも過ごして頂ける支援に繋げている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	法人全体で虐待防止委員会を設置し、年2回の全体研修を行っている、他に、業務の中で虐待となっている事がないか、職員同士で常に話し合い振り返っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	法人全体で研修会を開いている。事業所ではマニュアルを利用し、ミーティングを設けて勉強会を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居前には、必ずご本人に見学をしていただくようにしている。時には在宅時のケアマネージャーと連携を取り、家族の不安や疑問の解消に努めている。また、退去時にも同様に十分に説明を行っている。今年は新型コロナウイルス感染予防の為見学は行っていない。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族からの意思・要望については、面会時や電話等で聞き取りし、職員間で話し合い広報誌で反映させている。	運営推進会議参加の際に家族の意見や面会時、介護保険更新時、ケアプラン作成時など、意見や要望を聞いている。貴重な意見・要望は申し送りノートに記載し、職員で共有し、出来る範囲内で反映に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目(西)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>運営等に関する職員からの意見や提案については、随時その機会をもうけ、反映のための努力をしている。</p>	<p>申し送り時や、個別面談、研修委員会などから出た意見を申し送りノートに記録し、業務をする中での提案などが出しやすい機会を設けている。浴室内の介助バーの設置や夜間ポータブルトイレ設置などの意見が反映に活かされた。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>法人独自の評価があり、目標や評価を見直す機会がある。個人面接を行ったり、資格取得に向けた支援を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員の経験年数や力量に合わせ、働きながらしている。また、法人全体の研修委員会にも積極的に参加している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域で開催される研修や勉強会等に参加して同業者とのネットワークを広げサービスの質の向上につなげているが、本年度はコロナで対応が困難である。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>利用者の想いに沿える支援ができるよう家族 利用者様の思いに耳を傾け信頼関係が築けるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(西)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居に至るまでの、家族の思いや家庭の事情等を十分にうかがいながら意見や要望をサービス提供に活かしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>家族・利用者様の思いをしっかり理解したうえで、利用者様や家族に最も適切な対応が行える様努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>日々の関わりの中で、一緒にテレビを見たり、お茶したり昔の話を聞いたり、本人の体調に合わせ軽作業等に一緒に取り組むことで、日常の中に溶け込む努力をしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>オンライン面会を利用し 感染予防に努めながら家族との交流の機会を作った。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>行きつけの美容院へ出かけたり、近所の人やお友達が気軽に来ていただけるよう努めている。現在はコロナの影響で思うように会えていない状況。</p>	<p>本人・家族に入居時、馴染みの人や場を聞いている。地域行事を通じて、馴染みの場や人との再会が出来ていた。職員も手伝って年賀状のやり取りやお彼岸にお寺様の来訪、地域敬老会からの届け物など困難な中での支援に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(西)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	テーブルの位置や居室を工夫している。東と西が自由に交流できるように支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後も可能な限り、家族の相談にのり継続的に関わりを持つように努めている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の会話から本人様の思いを聞き、職員と話し合い可能な限り本人の思いに沿える様努めている。	担当者が関係性を深め、入居時の本人・家族の思い・意向を把握し、日頃のケアの中から知り得た情報を確実に伝達出来るよう記録し、本人の思いに寄り添える支援に努めている。帰宅願望に対して、法人内で出来る事を検討した結果、週1回デイサービスの30分利用で生活リズムが出てきた事例がある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前に、情報収集(家族やケアマネ)を行い話し合いを行い、生活歴や思いを把握するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	タブレットを導入しより細かく健康観察を行い、会話をする事によって心身の状態を把握し、安心して暮らせるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(西)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人・家族・スタッフの意見をまとめてケアマネが計画を作成、必要に応じてそれぞれのサービス 居宅 特養とカンファレンスを行いながら、計画修正を行っている。定期的にモニタリングを行い計画に反映させている。</p>	<p>担当職員の本人・家族の意向やチェック要約表を基に計画作成担当者が職員・家族等関係者による担当者会議を開催し、意見・アイデアや本人の得意とする事、家庭的で出来る事を目標にしたプランを作成し、3ヶ月毎モニタリングを行い、現状に即したプランを作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>タブレットを導入し効率化を図り寄り添う時間を拡大し情報共有を実践し、ケアプランにいかすことができる。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>隣接している特養の趣味活動に参加したり、本人や家族の状況等に合わせ、意向を聞きながら柔軟に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>利用者様が楽しめるイベントに参加している。100歳体操の取り組みをしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>週に1回協力医が回診し健康状態を把握している。本人様 家族の希望により これまでのかかりつけ医を受診している方もいる。</p>	<p>かかりつけ医の希望を入居時に説明している。協力医（内科）を希望する利用者は週1回の往診がある。協力医療機関以外や専門医の受診は家族対応であるが、職員が同行受診する場合もあり、受診後の報告を家族にしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(西)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	利用者様の体調の変化や、異常時には直ちに協力医に連絡を行い、相談することができる。その都度指示を仰いでいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはスタッフが付添い、病院関係者との情報交換を密にし、入院中も連絡を取り情報を得ている。また退院に向けても同様に連携を取っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化に備え、家族・主治医と話し合いを行い、特別養護老人ホーム入所の申し込み等を行っている。また、急変時に備え、昼夜を問わずかかりつけ医と連絡が取れる体制がある。	「重度化した場合における対応・看取りに関する指針」について、入居時同意書を交わしている。状態変化に伴い、今後の方向性について家族、主治医とも相談し、特別養護老人ホームへの移行の申し込みや緊急時には医療機関と連携体制も整っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時はかかりつけ医に連絡し指示を受けている。救急手当・心肺蘇生の方法等を受けているものが伝授している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署立会いの避難訓練の他に事業所独自で訓練を実施している。運営推進会議に参加をいただき、災害時には地域の消防団員の協力を得るようにしている。	消防署立ち合い指導の下、事業所独自で年2回、それ以外に新人研修等実施している。災害マニュアルチェックや水害・災害時の安全場所の確認を職員間で共有、特別養護老人ホームからの応援体制や近隣住民の協力体制、多目的ホールの利用や災害時の備蓄品も備えている。	

自己評価	外部評価	項目(西)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員は、利用者一人一人に対し、意思と尊厳を大切に、表情や言動に気をつけ優しく敬意のある対応ができるよう心がけ日々研鑽している。排泄時介助が必要な方以外は距離を置きプライバシーの確保を行っている。	常に利用者の立場で考え、人格の尊重やプライバシーの確保について、言葉掛けや行動について配慮している。不適切な言葉掛けや声掛けにはその場で注意、指導や研修を受講する事で介護ケアに変化が見られるなど取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者様が遠慮なく意見や希望を言ってくれる雰囲気や人間関係、環境作りをしております。日々しっかり声掛けをさせて頂き本人様の気持ちを大切にしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その日の体調に合わせて一人ひとりの今 したいことを優先し、希望に沿って過ごして頂いている。特に入浴など「今は入りたくない」と言われる時は、会話をし翌日に入浴して頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	朝の身支度の時、整髪や化粧品をお持ちの方はつけて頂いたり 更衣時 服装等は自分で選んで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	テーブル拭きや食器の片付け おはぎ作り お寿司作り 柿の皮むき等 事故に注意しながら 一緒に楽しく作っている。	特養老人ホーム厨房から副菜が届き、主食と味噌汁は事業所で調理、ご飯が炊き上がる匂いや味噌汁の香り、食事形態など工夫がみられる。出来る事を重視し、皮むきやテーブル拭き、足台やクッションを使用して体勢保持など楽しく食事が出来る雰囲気作りがなされている。	

自己評価	外部評価	項目(西)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	利用者の希望や状態に合わせ、量や形(キザミ・ムース)を調整している。必要に応じて、食事介助をしたり、こまめな水分補給を行い、摂取量などは詳細に記載している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	食後の口腔ケアを実施している。自分でできるところはしていただき後は介助している。必要に応じて歯科受診している方もいる。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	自立にむけた働きかけをし、個々の排泄パターンに合わせて、トイレでの排泄支援をしている。きな粉を用い便秘解消に努めている。	個々の自立支援に向け排泄パターンを把握し、トイレでの排泄に繋げている。トイレは居室に設置され、誘導の際は自尊心を傷つける事のないよう、言葉掛けに工夫が見られる。その結果、紙パンツ→布パンツへの移行やベット上での排泄からトイレに座っての排泄に繋がった。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排泄管理をし、日々の体操 運動 食生活を工夫しながら 便秘予防対策を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴日を決めてはいるが、本人の希望や体調に合わせて調整している。	週2回午後浴が基本で、希望や体調に合わせて柔軟に対応している。脱衣場と浴室内の温度管理に十分気を配り、浴槽は檜風呂で木の香りが漂い、手すりや入浴台も設置され、安全に入浴が出来るよう配慮されている。冬至にはゆず湯が準備され、入浴を楽しむ支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目(西)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>本人の望む場所で、休息して頂 き、安眠ができるよう工夫して いる。定期的にシーツ交換、掃 除を毎日行い、環境整備を行 い、清潔で過ごしやすい空間 作りをしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めて いる。</p>	<p>主治医の管理・指示の下に服 薬介助・確認を行っている。症 状の変化については医師に相 談している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換 等の支援をしている。</p>	<p>一人一人の能力、趣味、生活 歴をいかし、カラオケ・手芸・ 散歩・草取り・洗濯たたみ・ド ライブへ出かける等の支援を している。また、さくらんぼや イチジク・ミカン・柿・栗など の果樹を植え季節毎の収穫を 楽しんでいる。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力しな がら出かけられるように支 援している。</p>	<p>コロナの中、外出支援は困 難。ドライブに行き車内から 郷土巡りを行い楽しんで頂 けるよう支援している。</p>	<p>外出自粛で、毎年参加出来 ていた行事やイベントが困 難な中で、近隣の散歩、車 中からの郷土めぐりをしたり 、事業所周辺の四季折々の 木々の移り変わりを楽しむ など事業所が出来る事の支 援を行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つ ことの大切さを理解しており、 一人ひとりの希望や力に応 じて、お金を所持したり使 えるように支援している。</p>	<p>金銭管理が可能で所持を希 望される方には、助言しな がら使っていただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(西)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人様に手紙が来たときは説明し渡している。字を読むことが難しい方には読み、内容を伝えている。電話のときは見守りながら、お話をしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>太陽の光が差し込み明るく、適温のホールでは気の合う方同士でテーブルを囲み、お話が日々弾んでいる。トイレ 洗面台は各居室に常設してある。</p>	<p>木の温もりのある共有空間で太陽の光が窓越しに差し込み、明るく落ち着ける雰囲気がある。室内ではチラシを見ての脳トレや利用者、職員と一緒に制作した季節ごとの展示物の飾りつけ、掃除、温度管理、換気など環境整備に気を配り、癒しの空間づくりがなされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ホールはいつも誰かがいて自然に人が集まる空間である。利用者様がゲームをされたり、椅子に座りフットマッサージ ハンドマッサージを楽しまれている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>利用者様 家族と相談し在宅で使われていた家具などを居室で使用されている。趣味のものも飾り、落ち着け空間作りに努めている。</p>	<p>居室はベッド、洗面台、整理ダンスが設置されている。自宅で使い慣れた調度品の鏡台や趣味の作品のパッチワーク、家族写真、アルバムなどが持ち込まれ、思い思いに居心地良く過ごせるよう工夫がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>浴室 居室等何がどこにあるかわかりやすく 名前を付けている。理解が困難な方の対応は付き添い 慣れて頂けるよう支援している。</p>		

V アウトカム項目(西) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(東)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	普通で当たり前の生活ができるよう、個別に会話支援を行い、情報共有をし、家族の立場で考え話し合い、理念に基づいて生活を行って頂けるよう申し送り時話し合い少しでも近づけるよう努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の方々とは、運営推進会議への参加 災害時の協力体制がとれるようになっている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	推進会議のときに近所の方の認知症の相談を受けたり、事例をあげて支援の取り組みについて説明していたが今年度は新型コロナウイルス感染予防の為できていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	新型コロナウイルス感染予防の為できていない。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	事業運営をする上で判断に困ったことや疑問点があった時など市の担当者に連絡を取り、必要に応じて指導をしていただいている。		

自己評価	外部評価	項目(東)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人全体で身体拘束廃止委員会を設置し、年2回パソコンで研修を行っている。事業所内にて身体拘束をしないケアの理解を深め、職員間で共有して取り組んでいる。グループホームは一つの家として考え利用者様は家に帰ったらカギをかける習慣がある為施錠をしていないと不安になり気にされるため施錠して安心して頂いている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>法人全体で虐待防止委員会を設置し、年2回の全体研修を行っている、他に、業務の中で虐待となっている事がないか、職員同士で常に話し合い振り返っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>法人全体で研修会を開いている。事業所ではマニュアルを利用し、ミーティングを設けて勉強会を行っている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居前には、必ずご本人に見学をしていただくようにしている。時には在宅時のケアマネージャーと連携を取り、家族の不安や疑問の解消に努めている。また、退去時にも同様に十分に説明を行っている。今年は新型コロナウイルス感染予防の為見学は行っていない。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族からの意思・要望については、面会時や電話等で聞き取りし、職員間で話し合い広報誌で反映させている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(東)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>運営等に関する職員からの意見や提案については、随時その機会をもうけ、反映のための努力をしている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>法人独自の評価があり、目標や評価を見直す機会がある。個人面接を行ったり、資格取得に向けた支援を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員の経験年数や力量に合わせ、働きながらしている。また、法人全体の研修委員会にも積極的に参加している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域で開催される研修や勉強会等に参加して同業者とのネットワークを広げサービスの質の向上につなげているが、本年度はコロナで対応が困難である。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>利用者の想いに沿える支援ができるよう家族 利用者様の思いに耳を傾け信頼関係が築けるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(東)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居に至るまでの、家族の思いや家庭の事情等を十分にうかがいながら意見や要望をサービス提供に活かしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>家族 利用者様の思いをしっかり理解したうえで、利用者様や家族に最も適切な対応が行える様努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>日々の関わりの中で、一緒にテレビを見たり、お茶したり昔の話を聞いたり、本人の体調に合わせ軽作業等に一緒に取り組むことで、日常の中に溶け込む努力をしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>オンライン面会を利用し 感染予防に努めながら家族との交流の機会を作った、</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>行きつけの美容院へ出かけたり、近所の人やお友達が気軽に来いただけるよう努めている。現在はコロナの影響で思うように会えていない状況。</p>		

自己評価	外部評価	項目(東)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>テーブルの位置や居室を工夫している。東と西が自由に交流できるように支援を行っている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>退去後も可能な限り、家族の相談にのり継続的に関わりを持つように努めている。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日々の生活の会話から本人様の思いを聞き、職員と話し合い可能な限り本人の思いに沿える様努めている。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>入居前に、情報収集（家族やケアマネ）を行い話し合いを行い、生活歴や思いを把握するように努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>タブレットを導入しより細かく健康観察を行い、会話をする事によって心身の状態を把握し、安心して暮らせるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(東)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人・家族・スタッフの意見をまとめてケアマネが計画を作成、必要に応じてそれぞれのサービス 居宅 特養とカンファレンスを行いながら、計画修正を行っている。定期的にモニタリングを行い計画に反映させている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>タブレットを導入し効率化を図り寄り添う時間を拡大し情報共有を実践し、ケアプランにいかすことができる。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>隣接している特養の趣味活動に参加したり、本人や家族の状況等に合わせ、意向を聞きながら柔軟に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>利用者様が楽しめるイベントに参加している。100歳体操の取り組みをしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>週に1回協力医が回診し健康状態を把握している。本人様 家族の希望により これまでのかかりつけ医を受診している方もいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目(東)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	利用者様の体調の変化や、異常時には直ちに協力医に連絡を行い、相談することができる。その都度指示を仰いでいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはスタッフが付添い、病院関係者との情報交換を密にし、入院中も連絡を取り情報を得ている。また退院に向けても同様に連携を取っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化に備え、家族・主治医と話し合いを行い、特別養護老人ホーム入所の申し込み等を行っている。また、急変時に備え、昼夜を問わずかかりつけ医と連絡が取れる体制がある。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時はかかりつけ医に連絡し指示を受けている。救急手当・心肺蘇生の方法等を受けているものが伝授している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署立会いの避難訓練の他に事業所独自で訓練を実施している。運営推進会議に参加をいただき、災害時には地域の消防団員の協力を得るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(東)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員は、利用者一人一人に対し、意思と尊厳を大切に、表情や言動に気をつけ優しく敬意のある対応ができるよう心がけ日々研鑽している。排泄時介助が必要な方以外は距離を置きプライバシーの確保を行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者様が遠慮なく意見や希望を言ってくれる雰囲気や人間関係、環境作りをしております。日々しっかり声掛けをさせて頂き本人様の気持ちを大切にしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その日の体調に合わせて一人ひとりの今 したいことを優先し、希望に沿って過ごして頂いている。特に入浴など「今は入りたくない」と言われる時は、会話をを行い翌日に入浴して頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	朝の身支度の時、整髪や化粧品をお持ちの方はつけて頂いたり 更衣時 服装等は自分で選んで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	テーブル拭きや食器の片付け おはぎ作り お寿司作り 柿の皮むき等 事故に注意しながら 一緒に楽しく作っている。		

自己評価	外部評価	項目(東)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>利用者の希望や状態に合わせ、量や形(キザミ・ムース)を調整している。必要に応じて、食事介助をしたり、こまめな水分補給を行い、摂取量などは詳細に記載している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後の口腔ケアを実施している。自分でできるところはしていただき後は介助している。必要に応じて歯科受診している方もいる。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>自立にむけた働きかけをし、個々の排泄パターンに合わせて トイレでの排泄支援をしている。きな粉を用い便秘解消に努めている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排泄管理をし、日々の体操 運動 食生活を工夫しながら 便秘予防対策を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴日を決めてはいるが、本人の希望や体調に合わせて調整している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(東)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>本人の望む場所で、休息して頂 き、安眠ができるよう工夫して いる。定期的にシーツ交換、掃 除を毎日行い 環境整備を行 い、清潔で過ごしやすい空間 作りをしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めて いる。</p>	<p>主治医の管理・指示の下に服 薬介助・確認を行っている。症 状の変化については医師に相 談している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換 等の支援をしている。</p>	<p>一人一人の能力、趣味、生活 歴をいかし、カラオケ・手芸・ 散歩・草取り・洗濯たたみ・ド ライブへ出かける等の支援を している。また、さくらんぼや イチジク・ミカン・柿・栗など の果樹を植え季節毎の収穫を 楽しんでいる。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力しな がら出かけられるように支 援している。</p>	<p>コロナの中、外出支援は困 難。ドライブに行き車内から 郷土巡りを行い楽しんで頂 けるよう支援している。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの 支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つ ことの大切さを理解しており、 一人ひとりの希望や力に応じ て、お金を所持したり使える ように支援している。</p>	<p>金銭管理が可能で所持を希 望される方には、助言しなが ら使っていただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(東)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	本人様に手紙が来たときは説明し渡している。字を読むことが難しい方には読み、内容を伝えている。電話のときは見守りながら、お話居て頂いている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	太陽の光が差し込み明るく、適温のホールでは気の合う方同士でテーブルを囲み、お話が日々弾んでいる。トイレ 洗面台は各居室に常設してある。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ホールはいつも誰かがいて自然に人が集まる空間です。利用者様がゲームをされたり、椅子に座りフットマッサージ ハンドマッサージを楽しまれている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	利用者様 家族と相談し在宅で使われていた家具などを居室で使用されている。趣味のものも飾り、落ち着いた空間作りに努めている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	浴室 居室等何がどこにあるかわかりやすく 名前を付けている。理解が困難な方の対応は付き添い 慣れて頂けるよう支援している。		

V アウトカム項目(東) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 誠心園認知症対応型共同生活事業所

作成日 令和3年3月3日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議がコロナ感染予防の為出来ていない。	書面会議を実施する。	家族と連絡を取り聞き取りを行う。グループホーム内での様子を生活状況報告書、グループホーム便りで細かく報告する。	3か月
2	23	アンケートでケアプランの説明も話し合いもないとの回答があった。	家族に理解していただく。	ケアプランの説明を行い同意と理解を得て作成する。来園していただくか電話で詳しく説明をする。	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。